

山 行 報 告 書

山 名：毛無岩（西上州）（群馬県）	
入山日：平成26年 4月20日(日) 日帰り	
参 加 者	CL 阿部・深谷・岩田・箕島・小川国 小川正・中込・田中正 池ヶ谷・今田・申 (計11名)
	概略図 
記 録	
4月20日(日)	6:17 大宮発(車) — 6:47 川越 IC — 8:00 下仁田 IC — 下仁田・臼田線に入る
	8:50 道場駐車場着 — 9:20 出発 — 11:55 相沢越(分岐) — 12:53 毛無岩頂上 13:20 発 —
	14:00 ザイル確保による急斜面の下降全員終了 14:20~25 コル(分岐)を下降し縦走路へ 14:35~15:10 新人歓迎でカップラーメンを食べる —
	17:15 山神宮 — 17:25 道場駐車場 — 17:45 駐車場発帰路に就く
装 備 と 食 糧	共同装備：ツェルト(4)、ザイル 9mm30m 1本、 *コンロ 3, コップ 2 (新人歓迎パーティ用) 共同食：カップラーメン 11 (新人歓迎パーティ用)
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、セルフビレイ用具、ヘルメット ストック、軍手 個人食：行動食
感 想 ()	群馬県南牧村の道場集落から毛無岩へのルートは、台風等の影響で荒れ、今や廃道になり新しい地図には記載されていない。一応、赤布や踏み跡をたどり登ることはできるが、分かりづらい。定例山行でも一回ぐらいはバリエーションルートもよかろうと計画し、せいぜい5名以内の参加者が望ましいと思っていたのだが、11名も集まり一瞬ゲゲとなった。 とりあえず天候は曇りで雨も降っていないので車3台で大宮を出発する。渋滞にも合わず道場の駐車場につく。登山口がそばにあるが、せいぜい4台しか停められないせまいスペースで、先客がいたらと不安だったが一台もなかった。 登山道は、2年前に来た時よりさらに荒れている。2月に降った大雪が心配だったので、この間途中まで下見に来たが、造林小屋から上の沢筋には、けっこう残雪の詰まった箇所があり通過に神経を使った。

また、夜間だいぶ冷えたのか木々の枝に張り付いた樹氷がパラパラと雪のように落ちてきて登山道に白く積もっていた。岩場で積もっていたらどうしようと不安になる。やがて相沢越（縦走路）にでて分岐を毛無岩へ向かう。途中毛無岩の雄姿が見えるはずだがガスで何も見えない。参考のため2年前来た時に撮った写真を最後に添付した。岩場では背の高い木が生えていないので樹氷の心配は取り越し苦労だった。恐怖のナイフリッジを皆、無事通過し頂上に着く。狭く細長い岩場で11人収まるのも苦しい。展望がいいはずだが何も見えない。

さて下りだが、頂上からすぐ15mほどの急なガレ場を降りなければならない。足場も悪く、掴める頼りになる灌木も少ない。滑落すると15mどころでなくさらにその下まで落ちてしまう危険もある。多少時間はかかるが、ザイルを使うことにする。岩登り訓練で憶えたアブザイレン等を使って無事全員下降できた。さらに下るとほどなく縦走路に出た。縦走路を少し戻ると開けた道場への下降点に出る。ここで新人歓迎のカップラーメンパーティを開いた。緊張の後の温かいラーメンは「まいう〜」でした。Mさんありがとうございました。

道場への下降はところどころ侮れない岩場があったり、道に迷ったりしたが、なんとか明るいうちに駐車場に着くことができた。想定していた時間より2時間もオーバーし、計画の甘さを痛感した次第だが、とりあえず皆無事下山でき感謝の一言である。 完



毛無岩山頂にて（深谷氏撮影）



毛無岩（2012年10月撮影）